

年 組 名前:

小淵沢駅前に複合施設

カフェ、土産店、バー 多様な人集う場に



地元食材を使った料理や、エスプレッソが楽しめる1階フロア 井村 賢紳 菜摘 木場



施設は地下1階、地上2階と屋上の4フロアで構成され、延べ床面積約500平方メートル。地下1階は土産物店、施設のオリジナル商品のほか、県産ワイスキーやワインなどを販売している。1階はカフェとダイニングで、八ヶ岳の高原野菜を使用したカレーや甲州ワインビールのローストビーフ丼、ケーキやエスプレッソなどを提供している。

2階は貸し切りスペースなど。施設名は「中村理事長が31歳のときに訪れた米シカゴのバーの名前から取った。バーは多様性を受け入れるコンセプトで、人種関係なく一緒に楽しんでいたことに感動した（施設担当者）という。567。

施設は、中村理事長が31歳のときに訪れた米シカゴのバーの名前から取った。バーは多様性を受け入れるコンセプトで、人種関係なく一緒に楽しんでいたことに感動した（施設担当者）という。567。

施設は、中村理事長が31歳のときに訪れた米シカゴのバーの名前から取った。バーは多様性を受け入れるコンセプトで、人種関係なく一緒に楽しんでいたことに感動した（施設担当者）という。567。

北杜市小淵沢町地区に宿泊施設などを展開する「Kobuchizawa I KIGAI Village」(同) 所、中村和男理事長は、JR小淵沢駅前に複合施設「Happy Medium Club」(ハッピーメディアムクラブ)をオープンした。カフェや土産物店、バーなどで構成されており、観光客だけでなく地域住民らの利用も見込む。中村理事長は「将来を担う若い世代が明るい未来を想像できる場所にしたい」と話している。〈井村賢紳〉

(2025年8月1日付 山梨日日新聞 24面)

問1 JR小淵沢駅前にオープンした複合施設名と、その名称を付けた理由を教えてください。

施設名:

理由:

問2 施設の地下と1階では、県内産のなにを販売していますか。

地下:

1階:

問3 中村理事長は、この施設が、どのような場所になってほしいと話していますか。

.....